

# ニューロ・ロジカル・レベル

- ・ **ニューロ・ロジカル・レベルとは、ロバートディルツにより体系化されたNLP（神経言語プログラミング）モデル。**
- ・ **以下の6つのレベルに分かれている。**

# 「にゅーろ・ろじかる・れべる」とは!?

個人のレベルを超え  
自分は自分を越えた  
大きなシステムの一  
部であるという感覚。  
共同体感覚  
(For whom? For what?)

スピリチュアル

ビジョン

上の方の概念が  
下の方の概念に  
影響をあたえるのよー

自己認識

セルフイメージ  
アイデンティティ

Who?(あなたは誰?)

信念・価値観

Why?(どうしてするの?)

能力・見方

How?(どうやって?)

行動

What?(何をするの?)

環境

When?Where?  
(どこで、いつするの?)



- **「スピリチュアル」は、宇宙や地球、地域社会・職場・家族などの中での自分、Being（在り方）を意識するレベル。**
- **「自己認識」は、自分は何者であるか、自分の役割・ミッション、Who?（私は誰?）を意識するレベル。**
- **「信念・価値観」は、信念や価値観、信じていること、思い込みなど、Why?（なぜそれが大切か?）を意識するレベル。**

- **「能力」は、才能、能力、リソースなど、How? (どのように?) を意識するレベル。**
- **「行動」は、行動、振る舞いなど、What? (何を?) を意識するレベル。**
- **「環境」は、  
周りの環境、見えるもの、聞こえるもの、感じているものなど、Where? (どこ?) When? (いつ?) を意識するレベル。**

# 自分に使う時（ダメな例）

- ・ 「スピリチュアル」が、自分は社会に何もできないと思っている。
- ・ 「自己認識」が、私はいてもいなくてもどうでもいい存在と意識している。
- ・ 「信念・価値観」が、人生は自分の力では変わらないと思っている。
- ・ 「能力」は何も持っていないと思っている。
- ・ 「行動」は、自分に自信がないから言われたことをやるように意識している。
- ・ 「環境」は、用意された物で、頑張る。

# 自分に使う時（良いな例）

- ・ 「スピリチュアル」が、自分は、経済を回して社会貢献を提供する人と思っている。
- ・ 「自己認識」は、自分は経済を回すビジネスマンという認識をしている。
- ・ 「信念・価値観」が、誰でも人生は自分の力では変えられると思っている。
- ・ 「能力」は今までの自分の人生経験で、やれば必ずできた行動のリソース。
- ・ 「行動」は、やればできるので、失敗を恐れない。
- ・ 「環境」は、同じようなやる気の仲間が集まっている場所でビジネスをしている。

# 上位概念から変えていく

- **人は役割やアイデンティティが変わることで、環境を変えることができる。**
- **逆を言えば、環境だけ変えても、役割やアイデンティティが変わっていないと、本当意味では進化していない。**

# 他人に使う時

- ・ 「あなたは技術力は素晴らしい（能力）」と言われるとの、「あなたはホントに素晴らしい。（自己認識）」と言われるとでは、どう同じ「素晴らしい」という言葉を使っても、それを言われた時の感覚が異なる。
- ・ 上位概念を変えてあげることで、本当の変化を起こす。特に、自己認識、信念・価値観の変化は、行動の変化を生み、それにより能力の向上、環境の変化を生みだしやすい傾向にあります。
- ・ 「自分は人の上に立つような器ではない」という自己認識を「自分は人の上に立つことができる人間だ」という自己認識に変化させると、チームでリーダーシップを発揮することができ（能力レベル）、今までとは違い堂々とした態度で部下に接することができ（行動レベル）、それにより売り上げを今までの倍にすることができた（環境レベル）、ということも変化を起こすこともできます。